

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2010-174606

(P2010-174606A)

(43) 公開日 平成22年8月12日(2010.8.12)

(51) Int.Cl.
E03D 11/02 (2006.01)F 1
E03D 11/02テーマコード (参考)
2D039

審査請求 未請求 請求項の数 3 書面 (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願2009-37142 (P2009-37142)
(22) 出願日 平成21年1月27日 (2009.1.27)(71) 出願人 509048244
桑島 洋治
茨城県行方市島並1350
(72) 発明者 桑島 洋治
茨城県行方市島並1350 株式会社クワ
ジマ内
Fターム(参考) 2D039 AA05

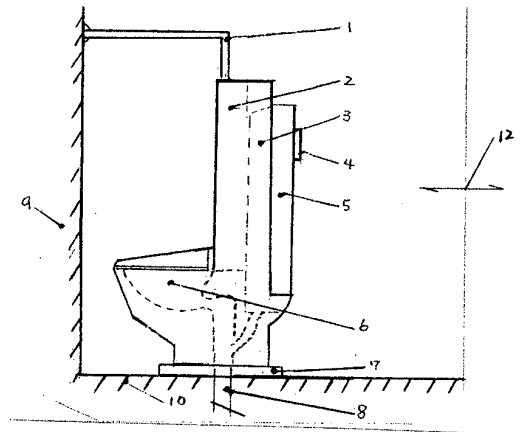
(54) 【発明の名称】 回転式男女兼用便器

(57) 【要約】

【課題】現在、各一般家庭のトイレにおいて、洋式便器が多く使用されているが、多くに洋式便器一台で、女性は元より男性の小便も洋式便器の蓋、便座を持ち上げて使用するか、もしくは、大便時のように、座っての使用が一般的で、男性においては、立っての使用時に飛び散りや、的はずれにより便器・床等を汚してしまう、また座っての使用は、面倒に感たり、男性器を押さえないと、便器から小便が飛び散る事もあり清潔感に悪く、男性の小便時に、快適な排出行為に欠ける。

【解決手段】使用用途に応じて、女性の使用又は、大便時においては、洋式便座のままで使用し、男性の小便時に回転式便器を、小便器用に回転させ、小便器カバーを開いて小便行為とする。

【選択図】図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

洋式トイレ便座の後部に男性用小便機を取り付けた一体型で、女性用又は大便時には従来の方式であるが、男性の小便時に便器を回転させ、男性用小便器にて、小便が可能とした回転式便器。

【請求項 2】

男性用小便器に、観音開きカバー（取外し可能）を取り付け、閉てる時は外観的美観に良く、使用時は小便飛び散り等を防ぐ効果となる。

【請求項 3】

小便器と水タンクを一体型にし、水タンク高さを高くし便座及び小便器の奥行きスペースを短くする事により、回転スペースをなくする。

10

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、洋式便座による男性の小便時の快適さと、トイレ及び便座等の清潔化を図った回転式男女兼用便座に関する。

【背景技術】**【0002】**

従来の家庭用トイレにおいても洋式便座が多く用いられているが、男性の小便時に立つて行う場合飛び散り、たれこぼれが多く、清潔性に欠け、また座っての小便時には、男性器の押さえ込み等も必要な場合もあり、男性の小便時に快適性にかける。

20

【0003】

洋式便座と男性用小便機を設置する場合、2部屋の確保と配管等（給排水）も2ヶ所の工事を要する。

【発明の概要】**【発明が解決しようとする課題】****【0004】**

従来の洋式便座では男性の小便時に飛び散り、たれこぼしの為、清潔性に欠け、快適な小便行為に不便を感じていた。

【0005】

本発明は、従来の洋式便座において、男性の小便時に感じていた、不快感、また便座、床等の汚れを防ぎ、清潔、快適小便（男性）を、目的としたものである。

30

【課題を解決するための手段】**【0006】**

そして、本発明は上記目的を達成する為に、従来の洋式便座の後部に男性小便器を取り付け、回転することにより、用途によって便器を選べる。

【0007】

また、小便器の清潔使用を目的とする中で、小便器の開口部に観音開きカバーを設置し、使用時に両側に開く事により、側面への飛び散り等防ぎ、使用時以外は、カバーを閉じていることにより、外観上の見た目にも良い。

40

【0008】

回転式にすることにより給水及び排水に課題があるが、給水と排水の位置を回転軸中心に設け、給水においては、壁面より化粧パイプにて上部に取り付け、給水タンク継ぎ手に自在式継ぎ手を使用し、排水においても、自在式継ぎ手を使用することにより問題は解決する。

【0009】

回転手段について、手動式、又は電動式も可能である。

【発明の効果】**【0010】**

本発明の回転式男女兼用便器は従来の家庭用トイレスペースにて、女性用は元より、男

50

性の小便時に快適小便を可能とした。

【 0 0 1 1 】

また、便器周辺の汚れ予防に大きく、清潔使用も可能とし、清掃等が容易である。

【発明を実施するための最良の形態】

【 0 0 1 2 】

以下、本発明の実施の形態を図 1 ～ 図 4 に基づいて説明する。

【 0 0 1 3 】

図 1 については、側面から見た立面図で男性小便器仕様可能な状態で、便座後部の洗浄水タンクと男性用小便器が一体で、小便器カバーが閉じられた状態であるが、洗浄水タンクと男性小便器は、必ずしも一体でなくても、可能である。

10

【 0 0 1 4 】

図 2 については、回転式男女兼用便器を上部から見た図（平面図）で従来の洋式前座の後に、水タンク、男性用小便器、小便カバーであり、小便器使用時は図 4 のように、カバーを開いて仕様する。また、女性仕様時、大便時には、便器を回転させ、使用する。

【 0 0 1 5 】

図 3 に付いては、小便器カバーを両開きの状態で男性の小便時状態である。

【 0 0 1 6 】

図 4 は、男性小便器を正面から見た図で、小便器カバーを閉じた状態です。

【実施例】

【 0 0 1 7 】

この、回転式男女兼用便器を設置することにより、女性又は、大便時については、従来と変わらないが、男性の小便時については、快適小便が可能で、便座の汚れ、トイレ床の汚れ等も大きく改善される。

20

【産業上の利用可能性】

【 0 0 1 8 】

今後の大きな、トイレ革命となり、トイレスペースも従来と大きく変わらず、特に一般家計においては、大きな普及も考えられ、回転方法に付いては、手動型・電動型も可能であり また、既存の便座を利用した、オプション改良式も考えられる為、利用可能性は大きく感じられる。

【図面の簡単な説明】

30

【 0 0 1 9 】

【図 1】本発明の実施形態を示す回転式男女兼用便器の側面図

【図 2】同回転式男女兼用便器の上部から見た平面図

【図 3】男性小便器使用時のカバーを開いた正面からの立面図

【図 4】男性小便器の正面からの立面図

【符号の説明】

【 0 0 2 0 】

1 : 給水官

5 : 小便器カバー

9 : 壁断面

2 : 線浄水タンク

6 : 便座

10 : 床断面

3 : 小便器

7 : 回転軸

11 : 便座回転方向

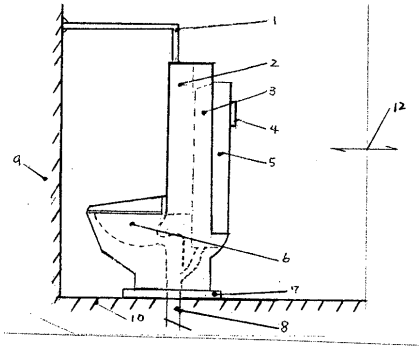
4 : カバーハンドル

8 : 排水管

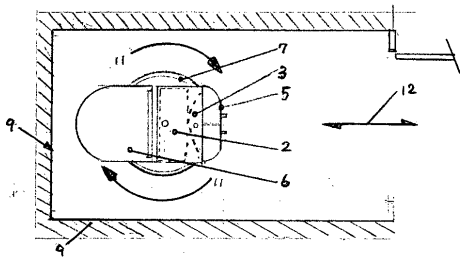
12 : 出入り口

40

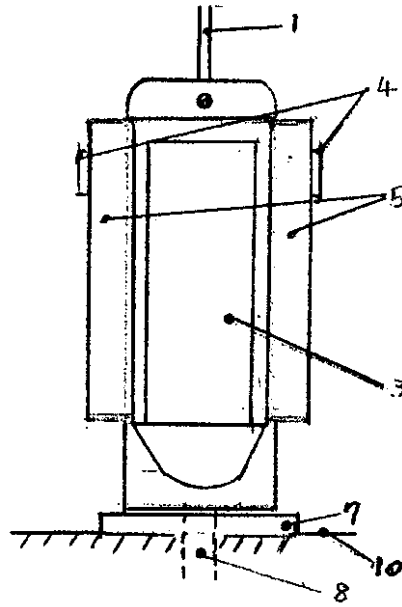
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【図 4】

